

報道機関各位

令和 7 年 12 月 18 日

株式会社セキュアヴェイル（東証グロース 3042）

代表取締役社長 米今政臣

セキュアヴェイル、『AI-SOC for M365』を活用したソリューション パートナープログラムを開始、第 1 号パートナー参画

IT セキュリティの専門企業、株式会社セキュアヴェイル（本社：大阪市北区、代表取締役社長：米今政臣、東証グロース：3042、以下セキュアヴェイル）は今年 12 月から提供を開始した AI-SOC for Microsoft 365 の運用環境を活用し、ビジネスパートナーとして共同して AI の学習並びにサービス拡張を推進する企業を募集するソリューションパートナープログラムを開始しました。

セキュアヴェイルは創業時よりセキュリティ運用サービスを提供しており、Microsoft 365 のログ分析やアラート判定においてセキュリティの視点が主となっています。そのため Microsoft 365 の導入や運用、カスタマイズなどを提供するベンダーと協業することでユーザーの実務視点でのログ分析やアラートを拡充し、AI-SOC サービスの機能拡張や共同でのビジネス推進を図れるようソリューションパートナープログラムをリリースしました。

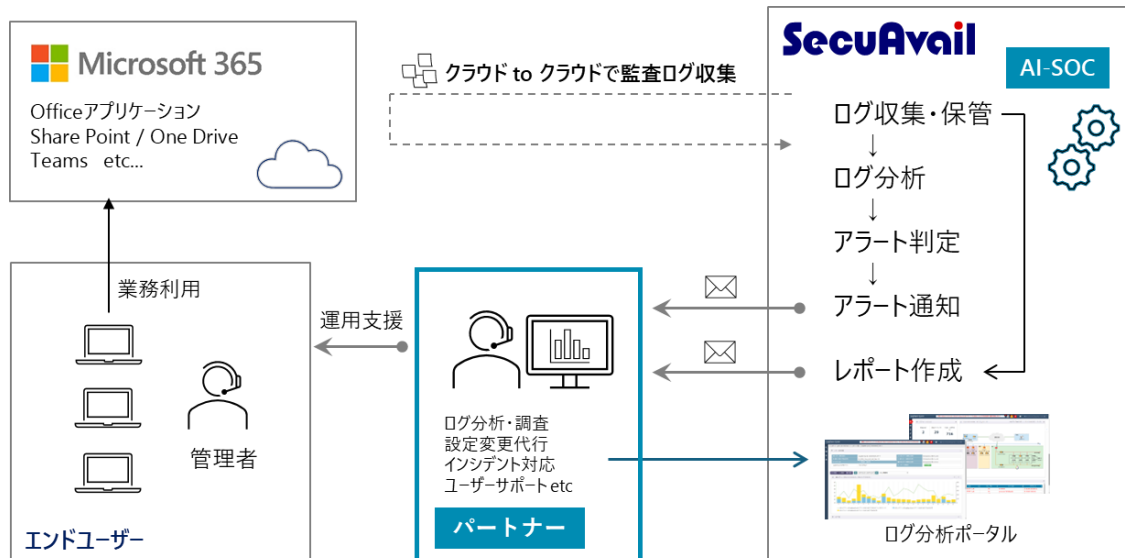
パートナープログラムは AI の育成、レポートの拡張、ビジネスの創造などを条件に、自社ユーザーの Microsoft 365 のログが分析できるポータルを提供します。

参画企業はポータルを活用し自社オリジナルの運用サービスやサポートサービス、月次レポートやコンサルティングなどビジネスの推進が図れます。

プログラムの開始とともに Microsoft 365 でビジネスをしているベンダー企業のパートナープログラムへの参加募集を開始します。

また、このプログラムに賛同した第 1 号のソリューションパートナーとして SG プラス株式会社（代表者：岡田憲明 本社：福岡県春日市）が参画したことを報告します。

サービス提供イメージ



SG プラス株式会社概要

2020 年設立。福岡県春日市春日原南町 4 丁目 11 番地

創業以来 Microsoft 365 を利用するお客様向けのコンサルティングサービスや Microsoft 365 を利活用するための技術サポートサービス、開発支援サービスを提供しております。

SharePoint の標準機能にない自社オリジナル web パーツである Service Gate を活用してよりユーザーが利用しやすいポータルサイトの構築サービスを提供しております。

株式会社セキュアヴェイル概要

2001 年設立。創業以来ネットワークセキュリティに特化して企業や組織の情報システムの運用をサポートする国内では数少ない IT セキュリティ専門企業。企業のシステムセキュリティを確保し、事業運営を安心して継続させるために「安全」で「役立つ」サービスを提供します。

創業期から 20 年以上提供し続ける統合セキュリティ運用サービス「NetStare」は SOC (Security Operation Center) と NOC (Network Operation Center) 双方を提供する業界でも数少ない統合セキュリティ運用サービスです。クライアント企業のネットワーク機器を常時 1.1 万台以上監視し、1 日 25 億件の膨大なログを収集し、機器故障、通信障害、サイバー攻撃などを 24 時間 365 日体制でいち早く発見します。

※記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

※本プレスリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社セキュアヴェイル カスタマーサポートセンター

TEL: 03-4405-6128 Email: contact@gr.secuavail.com

※本プレスリリース内容以外の IR 関係窓口

株式会社セキュアヴェイル

大阪市北区東天満 1-1-19

アーバンエース東天満ビル

経営企画本部 担当 林

TEL : 06-6136-0026

【用語説明】

・ AI-SOC

セキュアヴェイルは創業時から 24 時間 365 日、企業等のネットワーク運用監視の SOC (Security Operation Center) サービスをビジネスとして展開、その運用基盤にログ分析やアラートのノウハウ、経験を AI に活用した監視ソフトウェアを『AI-SOC』シリーズとして、リリースしている。

・ Microsoft 365 (M365)

Word、Excel、PowerPoint などの Office ソフトに加えて、Teams (会議・チャット)、OneDrive (クラウドストレージ)、セキュリティ機能などをまとめた「サブスクリプション (月額・年額払い)」のサービスで、これらを「クラウド」経由でいつでもどこでも、最新の状態で使えるパッケージ。Azure (マイクロソフト社クラウドサービス) 等を連携させることで、例えば医療分野では、医療従事者の電子カルテ等との医療情報、患者様個人の毎日の生活健康情報を連携させることで医療情報の価値を高めることができる。